

吾々ノ聯合ハ全案ハ附議ナク裁断由立候ニ決テ断固ヲ爲スル
諸君 縣東會館 共 議 察 議

〇、國總後總會籌備會ニ關スル判
本會出候論ナク仰先。

二其斷ハ附議ナク候ニ一出
ニ付斷スルコト

一、本會本編ノ編成ニテ全國ニ大衆戰慄ノ風ヲ興キ且一帯内陸
實行次第

固トシテ附議ナク候ニテモ
凡一姓ノ吟ノ吟モ又連連前ノ後行ナクハ内陸ニ達スルハ斷
ニ決スル 吾等ハ限々又連連前ノ吟ニ無事南無佛道ノ論ニ
前編一因ノ論年々斷成ト又連連前ノ吟ニ決スルコトノ
夫業著ニ陸心一著ニ決スルニ決スルコトノ吟ニ決スルコトノ
會ナレ業六十三編會ハ断固大衆ニ断固ナクハ一帯内陸ノ

財團法人協同會大阪支所

本編後編會議ノ如キ勞資協調ノ目的トスル會議ニ對シテハ絶
体的排撃ノ態度ヲ示サナケレバナラヌ又國際勞動會議自体ハ資
本家地主運ガ勞資協調ニ云ウ義名ノ下ニ凡ナル欺瞞ト陰謀トヲ
以テ奮々スルコトナリテノ競争力ヲ減衰セシメントスル機關デア
ルコトヲ知リテ決シテ故ニ奮々トシテ斯ル機關ハ何等必要ナク絶
對反對ナラズルニ決シテ反論ナラズル
本部員ニ於カレテモ國際勞動會議ニ對スル態度ヲ大衆ノ期待ニ
副スベク階級的良心ト責任ヲ以テ之ガ處理サレンコトヲ併セテ
希望スル。

同實行方法 中央委員會一任
關 東 内 出 伊三郎

提案者ハ勞動會議代表者ニ對スル投票權ヲ拋棄スル意圖ノ下ニ
提案サレタルヤ
答